



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

地区補助金事業報告

プロジェクト名：特定非営利法人どりいむわあくす 作業用テーブル5台・ホワイトボード1台・味噌容器5個を寄贈する

■プロジェクト実施日： 2023年10月7日

■実施場所：福山市今津町 特定非営利活動法人どりいむわあくす 施設内

【どりいむわあくすの活動内容】

特定非営利法人どりいむわあくすは、全ての人が、心身共に健康で幸せに過ごしていける地域社会を目指して人との交流を大切にして、すべての人が繋がり、お互いを思いやり、支え合う中で、生きる喜びと幸せを感じる事が出来る地域社会を目指し、障害者の方の生活訓練から就労後のサポートまで、一人ひとりに合ったプログラムで訓練する事業所です。

就労継続支援B型事業では委託作業またオリジナルの作業として幸せのみそ作り、クッキーとケーキの製造販売、箸置き制作や醤油の販売など障害者の知識と能力向上のためのサポートを行います。その他にカラオケやトランプなどといったご利用を障害者のコミュニケーションにも力を入れた施設となっています。

【プロジェクト概要】

広島県福山市今津町の多機能型障害福祉サービス事業を営む特定非営利活動法人どりいむわあくす30代から70代までの障害者25名が在籍し、箱折、検品作業といった委託作業又、みそ作りや調理実習など独自の活動を行い就労体験・生活体験、自然体験などの体験活動から障害者自らの創造活動を推進するとともに、障害者の社会復帰を目指して就労訓練を行っています。充実した就労支援活動の為に今回、作業用テーブルホワイトボード1台、みそ容器類を寄贈することになった。

【実施報告】

2023年10月7日、松永ロータリークラブは就労移行支援、就労継続支援B型事業を行う福山市今津町の特定非営利活動法人どりいむわあくすに作業用テーブル5台・ホワイトボード1台・みそ用ポリ容器類5個を寄贈した。贈呈式では地区補助金の趣旨を贈呈式参加者に小川会長が説明し、沖 R財団・米山奨学会委員長が経過報告を行いました。



障害者のみそ造りの一助に

松永RC 容器など寄贈

福山市の松永ロータリークラブ(RC)は7日、PO法人「どりいむわあくす」に机5台や50リ



寄贈した机やみそ容器を確認する小川会長(左)と小川理事長

のみそ容器5個など11点(30万円相当)を贈った。同法人には30〜70代の障害者25名が在籍し、みそや菓子づくり、ラベル貼りなどに励んでいる。みそ容器が古くなっていたほか、新型コロナウイルス禍が落ち着いたことで登録者が増え、作業用が不足していたという。贈呈式では同RCの小川正博会長(53)が「就労訓練の機会が増え、社会復帰の環境づくりに貢献できれば」とあいさつ。同法人の小川一三理事長(92)は「障害者の活動の幅を広げる助けになる」と感謝していた。(大川万優)

中国新聞2023年10月8日朝刊より



松永ロータリークラブ 今津町のNPO法人に 作業用のみそだる寄贈

松永ロータリークラブ(小川正博会長)は、就労継続支援B型事業所「せみそ」やクッキーの製造販売、検品作業などを行っている。利用者が増えたことで作業用具が足りなくなる心配があったが、寄贈により備品不足が解消できるという。小川一三理事長は「長い間(同RC)に助けられていた。今回の支援も大変うれし」と感謝した。

